



光の春、二月になりました。安倍内閣が年末にスタートし、アベノミックスという言葉が世上をにぎわせています。日本銀行もついに2%のインフレターゲット政策を採用します。一月遅れで発表された新年度予算も注目です。経済が社会の安定に必要であることが切実に感じられる時代です。このような変化の動向を読み解き、それを教育の場でどう伝えてゆくか、現場の先生方への期待は大きなものがあります。

メルマガでは、そのような先生方の力になるような情報提供や活動の情報を報告いたします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

1月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 東京部会 (No.55) を開催しました

日時：2013年1月15日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部本館中二階会議室

内容：出席者16名。内容概略は以下の通りです。

1、夏休み経済教室の進捗状況の説明があり、プログラムの検討がなされました。そのなかで、名古屋会場は、講師の都合から中学と高校を入れ替え8/1高校・8/2中学となりました。講師陣、講演講師などの検討が行なわれました。

2、2月16日の埼玉ワークショップと3月総会の確認がなされました。3月総会については中川先生(日本大学)から説明があり、二部構成にして、一部は教科書の解説、二部は実践に生かすためのディスカッションの方向で調整中との報告を受けました。

3、実践報告関連は三本ありました。新井(小石川中等)より、大学入試やミクロ演習書にもとづく教育系の学生向けの問題と解説が配付されました。高橋先生(桜修館中等)から「高層マンション建設の問題を法と経済で考える」というタイトルの実践案が紹介されました。これは国立市におけるマンション訴訟における住民側と開発業者の対立を事例にして、両者の幸福を考えさせるという提案で、参加者から改良に関する提案がありました。野間先生(同志社大学)

から、大阪部会で紹介された河原和之先生「ネタ・ゲームを通じて見方考え方を培う経済の授業」の内容が報告されました。

詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo055report.pdf>

■京都部会 (No.17)を開催しました

日時：2013年1月18日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館

内容：出席者8名。内容概略は以下の通りです。

1、初めに、篠原代表および野間理事から、最近のネットワークの活動報告がありました。夏の経済教室、各地のワークショップ、3月の年次大会の準備の進捗状況が説明されました。

2、篠原代表から、日経新聞記事をもとに「円安は日本経済にとって良いことだ」という一般的な認識への問題点が指摘されました。最大の理由は、近年貿易収支が赤字に転じて、円安になると輸入品価格が上昇しコスト高になり日本経済にマイナスの影響がおよぶからで、とくに、原発の停止で石油や天然ガスの輸入が増加したために、為替レート変化の影響を受けやすくなっている。逆に輸出の方は、半製品の増加など輸出構成が変化したために、円高でも輸出が減少しにくい面が出てきた。その他に、貿易通貨建ての変化とも関係しており、中高の生徒に説明するには難しいところもあるが、「円安は良い」「円高は悪い」とは言えなくなっているとの問題提起でした。

3、実践報告では、東京部会で高橋先生(桜修館中高)が報告した「高層マンション建設の問題を方と経済で考える」、昨年大阪部会で河原先生(関西大学中等部)が報告した「ネタ・ゲームを通じて見方考え方を培う経済の授業」の資料が配布され、これらを題材に意見交換を行いました。

4、川上敏和先生(同志社大学)から、政府の役割について経済学的な整理が紹介され、独占、外部経済性などについて解説がされました。その際、各教科書が「なぜ公共サービスは政府が提供するのか」という点に関する記述の抜粋・比較がなされ、興味深い違いが指摘されました。

詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto017report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■あす、札幌部会 (No.6)を開催します

日時：2013年2月2日(土) 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55 ビル 5階)

内容、参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo006flyer.pdf>

■WS 稚内を開催します

日時：2013年2月9日（土） 13時50分～16時50分

場所：稚内北星学園大学 本館3階小教室

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。なお、8日金曜日は北海道豊富高校で授業公開があります。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20130209WS%20Wakkanai.pdf>

■WS 川口を開催します

日時：2013年2月16日（土） 13時30分～16時30分

場所：埼玉県川口市立里中学

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。なお、今回のWSは川口市教委と埼玉県教委の後援を受けています。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS%20Kawaguchi20130216Rvsd.pdf>

■年次大会を開催します

日時：2013年3月23日（土） 13時30分～16時30分

場所：同志社大学寒梅館

内容：経済教育と法教育の対話その2

コーディネーター 中川雅之先生

問題提起者：経済学から安藤至大先生（日本大学）、法学から野川忍先生（明治大学）
高校から吉田英文先生、関本祐希先生

参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20130323symposium%20flyer%20125.pdf>

■提携の団体の活動

第30回記念大会：授業のネタ研究会 in 関西

日時：2013年3月23日（土）～24日（日）

会場：弁天町市民学習センター

参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/30th%20KinenTaikai.pdf>

■夏休み経済教室の準備が進行しています

2013年8月1, 2日 名古屋（ウインクあいち）

同 8月5, 6日 大阪（天満橋・国民会館）

同 8月8, 9日 福岡(天神ビル)

同 8月12, 13日 東京高校(東証)

同 8月19, 20日 東京中学(東証)

内容は現在検討中ですが、教科書を読み解くシリーズ、歴史を経済で読む、エコノミストと現場教師とのコラボなど、これまで以上に先生方にとって役立つような内容を目指しています。なお、名古屋地区は8月1日は高校向け、2日を中学向けとする予定です。現在のところ、マクロ経済に関しては、昨年好評だった小巻先生(日本大学)に景気の話をしていただく予定です。

歴史から経済を読む講義に関しては、篠原代表、野間先生(同志社大学)に担当いただくことになっています。また、講演講師には、真壁昭夫先生(信州大学)をお願いして、日本経済の現状分析を語っていただくことになりました。

講師、内容に関してご要望をお寄せください。

【 3 】 授業のヒント

「100円から経済を見る」

現代で100円の価値はどのくらいあるだろう。実際に買い物をしてそれを確かめ、さらに買った商品の背景を探ってみようという授業の勧めです。

代表的な100円商品は、100円ショップにあります。また、コンビニでも100円ローソンのように低価格を売り物にする店もでてきています。100円マック、100円コーヒーなどもあります。回転すしの100円もあります。缶コーヒーやペットボトルでも100円のものが結構あるし、100円自販機も探せば結構見つかるかもしれません。

そこから、なぜ100円ショップが生まれたか、それらの製品はどこで作られているかなど調査がはじまります。コンビニで言えば、100円ローソンはM&Aで登場しています。その前はどんな店だったか、またそこでの労働はどんなものだろうかなど様々な切り口ができます。100円マックの価格戦略は、需要の価格弾力性の学習に生かせるかもしれません。原価の秘密、価格競争、デフレなど理論的に迫ることも可能です。

実際に100円持たせて学校の周囲をフィールドワークさせることも可能なら試みてもよいかもしれません。経済の授業を生き生き、いや、生々しくさせる試みで、シミュレーションからアクションです。ただし本当に実行するときは、慎重に。(新井)

【 4 】 編集後記(みみずのたはこと)

教員の早期退職を巡って、多くの報道がされています。経済のことばでは、インセンティブ、制度設計ということになるでしょう。政治だとポピュリズムでしょう。これは、明らかに制度設計のミスです。それを「教師も金に目がくらんだ」

的な表現をするマスコミの見識を疑います。政治家に、またジャーナリストに
経済教育の必要性を痛感する日々です。とはいえ、もし自分が当事者だったら
どうするか、倫理的ディレンマに悩まされることでしょう。これも実物教育？

(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇